

## 施 工 計 画 書

●●監督員

様

受注者  
現場代理人

年度●●事業 ●●工事施工計画書について（提出）

標記について●●工事●●仕様書●●●●に基づき提出します。

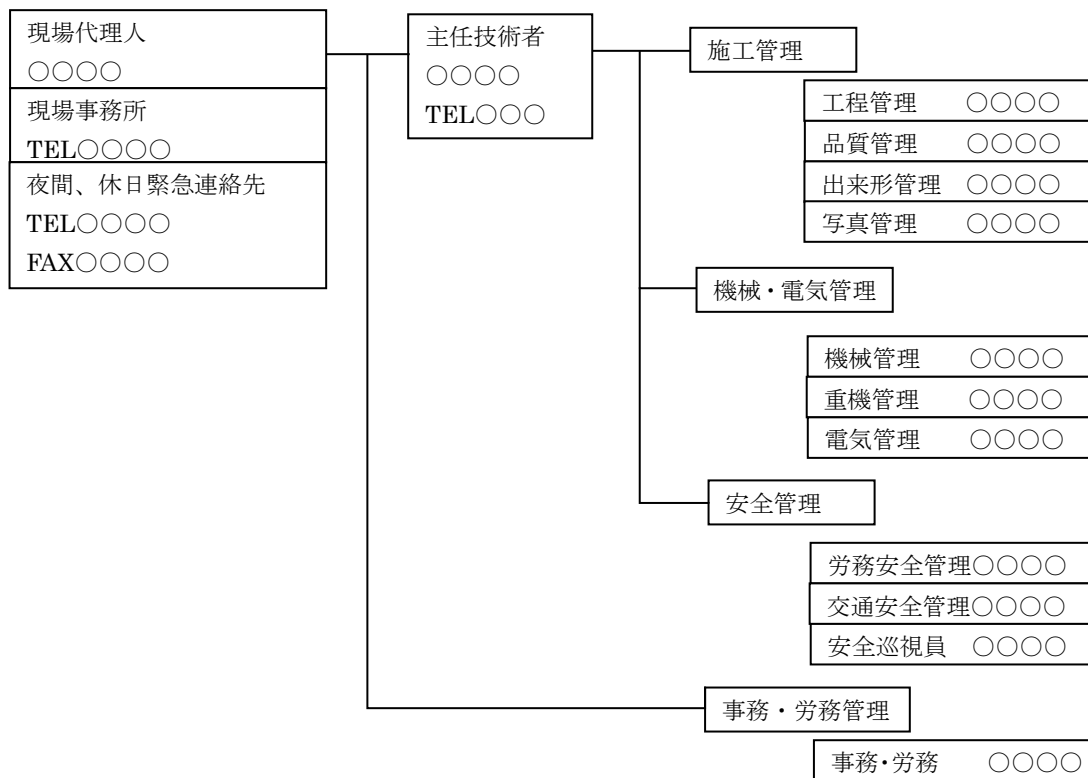
### 目 次

- 1. 現場組織表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○
  - 2. 安全管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○
  - 3. 緊急時の体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○
  - 4. 交通管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○
  - 5. 主要資材一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・○
  - 6. 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法・・・・・・○
- ※工程表については伊豆の国市建設工事 執行規則 19 条による

「小規模工事（当初請負代金額 500 万円以上 1,000 万円未満）の施工計画書記入例」

1. 現場組織表

現場事務所 静岡県伊豆の国市 TEL ( )

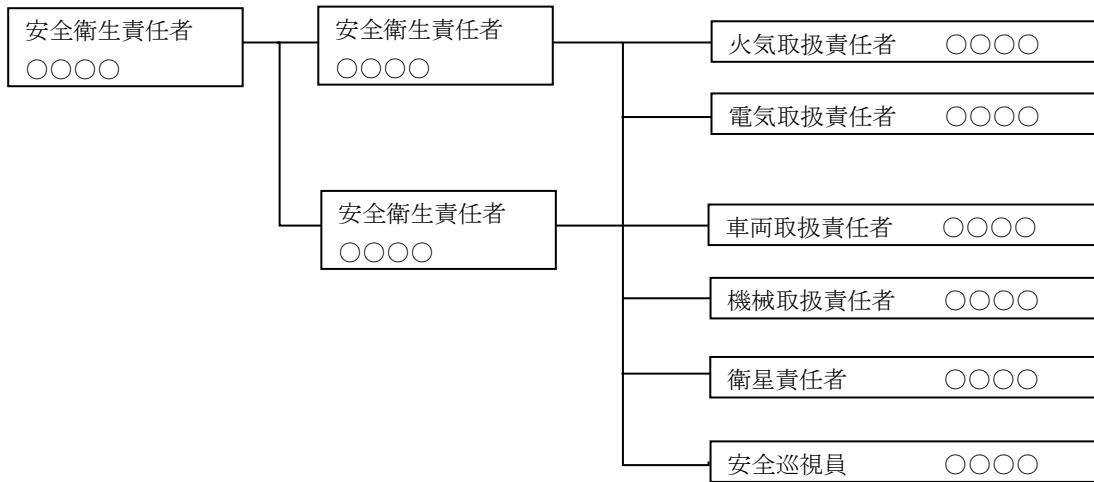


2. 安全管理

- (1) 工事現場における作業員の安全と健康を確保し快適な作業環境の形成を促進するため、また工事関係者に限らず第三者への危害等（公衆災害）の絶無のため、施工業者一体となった責任体制の確立を図るとともに、労働者に対する安全指導を徹底する。
- (2) 安全管理実施事項は、以下のとおりとする。
  - ・現場内へは第三者の立入りを禁止する措置を講ずると共に、通学時の生徒・児童らへの安全を図るように注意し、立看板を設置する。
  - ・現場内の整理整頓に努め、機械器具及び車両を点検記録し、保安帽等の保護具の着用を徹底する。また、パトロールを定期的実施し、安全管理に関する指導を徹底する。

「小規模工事（当初請負代金額 500 万円以上 1,000 万円未満）の施工計画書記入例」

(安全委員会の構成)



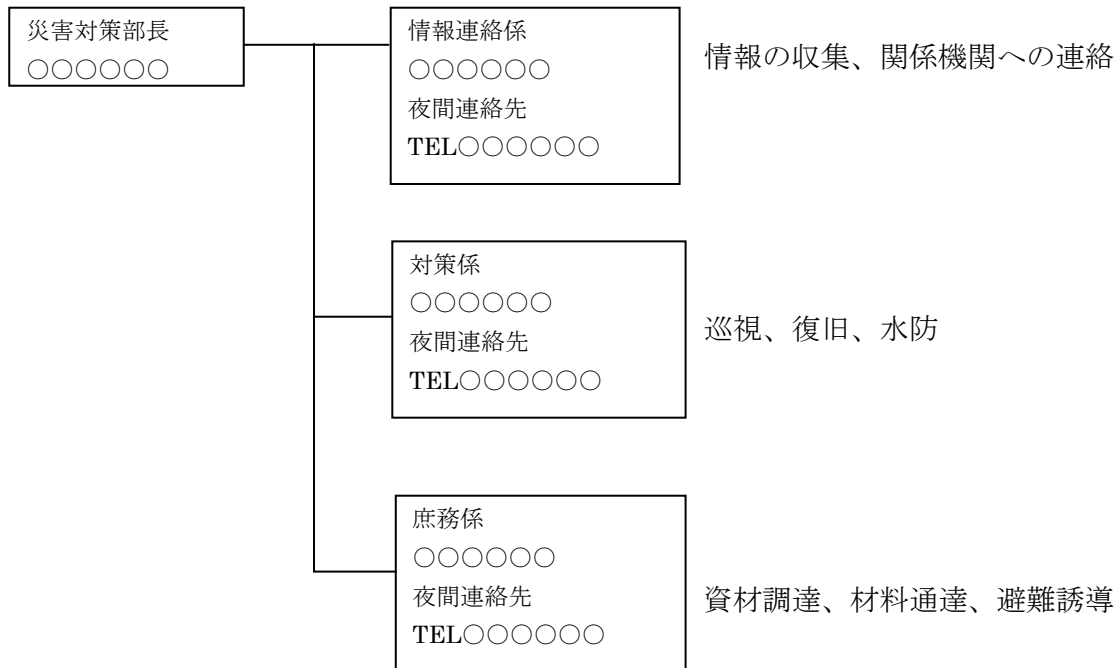
(3) 事故発生時における連絡系統は、3 に定める緊急時の連絡系統図と同じとする。

3. 緊急時の体制

(1) 大雨、出水、強風等の異常気象で災害発生のおそれがある場合、次の緊急時の体制に入り必要に応じ現場内のパトロールを行い警戒にあたる。

なお、非常時に備え現場には土嚢、工具、照明器具等を常備する。また、作業現場内において事故発生、又はそのおそれがある場合、作業時間内はただちに緊急時の体制に入り各担当職務に応じて行動する。

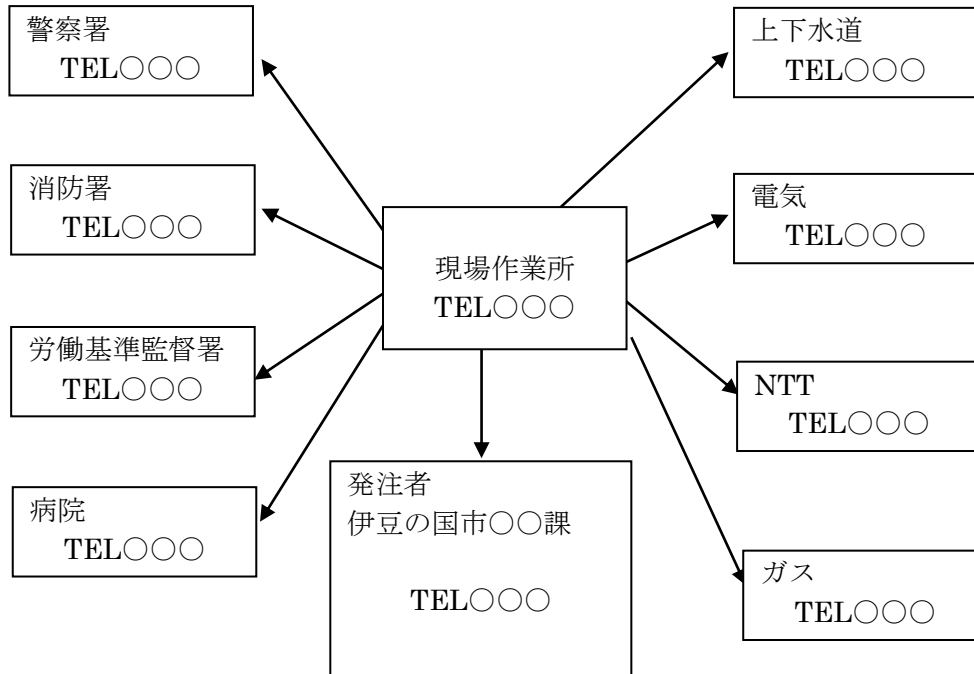
(緊急時の体制：記載例)



「小規模工事（当初請負代金額 500 万円以上 1,000 万円未満）の施工計画書記入例」

(2) 作業現場内の事故発生時における連絡系統及び夜間又は休日における連絡方法は次のとおりとする。

(緊急時の連絡系統図：記載例)



(3) 南海トラフ地震臨時情報発表時の対応は次のとおりとする。

区 分	対 応
調査中	・ 情報収集を行い、関係者と連絡をとる。
巨大地震注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場合によっては、作業を中止する。</li> <li>・ 工事現場における施工構造物、仮設構造物、建設機械などについて火災・延焼防止、敷地外への倒壊、資機材の落下防止、燃料などの流出・漏えい防止措置をとる。</li> <li>・ 工事現場からの避難経路、避難場所の確認を行う。</li> </ul>
巨大地震警戒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業を中止する。</li> <li>・ 工事現場における施工構造物、仮設構造物、建設機械などについて、火災・延焼防止、敷地外への倒壊、資機材の落下防止、燃料などの流出・漏えい防止措置をとる。</li> <li>・ 工事現場から避難経路により避難場所へ避難する。</li> </ul>

(避難経路・避難場所)

記入例のため省略

## 「小規模工事（当初請負代金額 500 万円以上 1,000 万円未満）の施工計画書記入例」

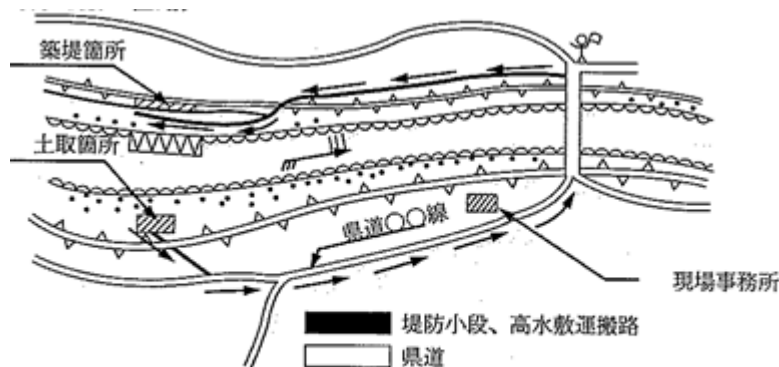
### 4. 交通管理

道路交通関係法令及び土木工事共通仕様書第1編共通編1-1-32の交通安全管理に関する各項を厳守し事故のないよう特に注意する。また、土運搬、産廃運搬、資材運搬の経路は図-1のとおりである。

なお、運搬は一般道路を通過するため一般通行を優先し通行に支障のないよう十分注意する。また、作業場出入口には交通誘導警備員と各種標識類を配置する。

図-1 位置図等

(残土運搬、資材運搬の経路)



### 5. 主要資材一覧表

品名	規格・寸法	購入会社名
コンクリート	18-8-40	
	21-8-25	
積ブロック	控 35cm	
切込み碎石	C-30	
溝蓋	車道 t=13cm	

### 6. 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法

受注者は、建設副産物適正処理推進要綱（国土交通事務次官通達、平成 14 年 5 月 30 日）、再生資源の利用の促進について（建設大臣官房技術審議官通達、平成 3 年 10 月 25 日）を遵守して建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。（土木工事共通仕様書第 1 編共通編 1-1-18 建設副産物）

「小規模工事（当初請負代金額 500 万円以上 1,000 万円未満）の施工計画書記入例」

様式1 再生資源利用計画書(実施書) ー建設資材搬入工事用ー ー「建設リサイクルガイドライン」様式ー

1. 工事概要

発注機関名		発注機関コード*1	発注担当者チェック欄		請負会社名	請負会社コード*2		記入年月日		H. 年 月 日
			担当者	TEL ( )	建設業許可 または 解体工事業登録	大臣 短事 号		工事責任者		
					会社所在地	TEL ( )	FAX ( )	調査票記入者		
工事名	工事種別コード*3		請負金額	千百十 億 万 千 百 十 万 円 未満 四捨五入		左記金額のうち特定資材廃棄物の処理費用		千百十 億 万 千 百 十 万 円 未満 四捨五入		
			0,000 円 (税込み)			0,000 円 (税込み)				
工事施工場所	都 道 市 区	住 所 コード*4	工 期	平成 年 月 日 から			建築面積		階 数	地上 階
	府 県 町 村		平成 年 月 日まで					延床面積		地下 階
工事概要等	施工条件の内容 (再生資源の利用に関する特記事項等)						構造 (数字に○をつける)		地上 階	
							1.鉄骨鉄筋コンクリート造 2.鉄筋コンクリート造 3.鉄骨造			
							4.コンクリート7ロック造 5.木造 6.その他			
							後 途 (数字に○をつける)			
							1.居住専用 2.居住産業併用 3.事務所			
							4.店舗 5.工場 作業所 6.倉庫			
							7.学校 8.病院診療所 9.その他			

表面

2. 建設資材利用計画(実施)

注:コード\*5~9は下記欄外のコード表より数字を選んでください。

建設資材 (新材を含む)				再生資材の供給元 (再生資材を利用した場合に記入してください)				再生資源		
分類	小分類 コード*5	規格	主な利用用途 コード*6	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*7	施工条件 内容 コード*8	再生資材の供給元場所住所	再生資材の名称 コード*9	再生資材利用量(B) (注1)	利用率 B/A×100
特定建設資材	コンクリート			トン					トン	%
				トン					トン	%
	合計			トン					トン	%
	コンクリート及び鉄から成る建設資材			トン					トン	%
	合計			トン					トン	%
木材				トン					トン	%
				トン					トン	%
	合計			トン					トン	%
アスファルト混合物				トン					トン	%
				トン					トン	%
	合計			トン					トン	%
その他の建設資材	土砂			締めm <sup>3</sup>					締めm <sup>3</sup>	%
				締めm <sup>3</sup>					締めm <sup>3</sup>	%
	合計			締めm <sup>3</sup>					締めm <sup>3</sup>	%
	砕石			m <sup>3</sup>					m <sup>3</sup>	%
	合計			m <sup>3</sup>					m <sup>3</sup>	%
その他(再生資材のみ記入)				トン				トン	%	
				トン				トン	%	
合計				トン				トン	%	

コード\*5  
コンクリートについて  
1.生コン 2.無筋コンクリート二次製品 3.その他  
コンクリート及び鉄から成る建設資材について  
1.有筋コンクリート二次製品 2.その他  
木材について  
1.木材(ボード類を除く) 2.木質ボード  
アスファルト混合物について  
1.粗粒度アスコン (開粒度及び改質アスファルトコンクリートを含む)  
2.細粒度アスコン (開粒度) 3.アスファルトモルタル  
5.加熱アスファルト二次製品 6.再生アスファルトモルタル  
土砂について  
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土  
4.第四種建設発生土 5.浚渫土 6.土質改良土  
7.建設汚泥改良土 8.再生コンクリート砂  
9.山砂、山土等の購入土、採取土  
砕石について  
1.クラッシュラン 2.粒度調整砕石 3.篩さい 4.単粒度砕石  
5.くり石、割ぐり石 6.その他  
その他について(再生資材の名称を具体的に記入)

コード\*6  
アスファルト混合物について  
1.表層 2.基層  
3.上層路盤 4.歩道  
5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)  
土砂について  
1.道路路体 2.路床 3.河川築堤  
4.構造物等の表込材、埋戻し  
5.宅地造成用 6.水面埋立用  
7.はみ整備(農地整備)  
8.その他(具体的に記入)  
砕石について  
1.舗装の下層路盤材  
2.舗装の上層路盤材  
3.構造物の裏込材、基礎材  
4.その他(具体的に記入)  
その他について(利用用途を具体的に記入)

コード\*7  
再生資材の供給元について  
1.現場内利用  
2.他の工事現場(陸上)  
3.他の工事現場(海上)  
4.再資源化施設  
5.ストックヤード  
6.その他

コード\*8  
施工条件について  
1.再生材の利用の指示あり  
2.再生材の利用の指示なし

コード\*9  
コンクリートについて  
1.再生生コン 2.再生無筋コンクリート二次製品 3.その他  
コンクリート及び鉄から成る建設資材について  
1.再生有筋コンクリート二次製品 2.その他  
木材について  
1.再生木材(ボード類を除く) 2.再生木質ボード  
アスファルト混合物について  
1.再生粗粒度アスコン  
2.再生細粒度アスコン(開粒度及び改質アスファルトコンクリートを含む)  
3.再生細粒度アスコン 4.再生アスファルトモルタル  
5.再生加熱アスファルト安定処理路盤材  
土砂について  
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土  
4.第四種建設発生土 5.浚渫土 6.土質改良土  
7.建設汚泥改良土 8.再生コンクリート砂  
9.山砂、山土等の購入土、採取土  
砕石について  
1.再生クラッシュラン 2.再生粒度調整砕石 3.篩さい  
4.その他  
その他について(再生資材の名称を具体的に記入)

注1:再生資材利用量について  
アスファルト混合物等で、利用した再生材(製品)の中に、新材が混入している場合であっても、新材混入分を含んだ再生資材(製品)の利用量を記入してください。

裏面にも御記入ください

